

# TV JUMPER

## TSH26

取扱説明書 No. : TSH26-001

### 取扱説明書

この度は、BLITZ『TV JUMPER(TV 切り替えタイプ)』をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用してください。

使用方法や諸注意に関しては本取扱説明書をよくお読みになった上で、正しい使用方法でご使用願います。

製品の保証については同梱の保証書をご参照ください。

#### ● 自動車ディーラー入庫時について

本製品を装着すると車両の保証や点検が受けられない場合があります。車検、点検などの目的で車両を自動車ディーラーなどに入庫する場合は、本製品を取り外してから入庫してください。

- 危険** この表示を無視して誤ったご使用をすると、身体や財産に重大な被害が発生する可能性が想定される内容であることを示しています。
- 警告** この表示を無視して誤ったご使用をすると、法律に違反する可能性が想定される内容であることを示しています。
- 注意** この表示を無視して誤った取り付けをすると、人が損傷を負う、もしくは車及び製品の破損・故障といった物的損害の発生が想定される内容であることを示しています。
- 重要** 本製品を使用する上で知っておいていただきたい事を示しています。

#### 動作上の注意事項(必ずお読み下さい)

<b>重要</b>	ルートガイダンスをご利用の場合は、必ずスイッチをノーマル状態にしてからご利用ください。
<b>重要</b>	お取り付けする機種によっては、車両メンテナンス機能が正常に働かなくなる(表示に誤差が生じる)場合がありますが、故障ではありません。
<b>重要</b>	スイッチをオンにしたときから、ナビゲーションの自車位置が狂うことがあります。スイッチをノーマル状態にし、しばらくすると正常動作に戻ります。

#### 製品についてのご相談及びお問い合わせについて

製品に関するお問い合わせ、連絡は電話にて下記宛にお願い致します。

- 連絡先 株式会社ブリッツサポートセンター
- 住所 東京都西東京市新町4-7-6
- TEL 0422-60-2277

<http://www.blitz.co.jp/>

#### ご使用上の注意事項(必ずお読み下さい)

<b>危険</b>	本製品は運転者以外の同乗者が、走行中にテレビを見たりナビゲーションの目的地設定をするために開発された製品です。運転者は運転中に絶対にテレビを見ないでください。また、ナビゲーションの操作及び目的地設定等も行わないでください。
<b>警告</b>	運転者は走行中にモニター画面に表示された画像を注視すると安全運転義務違反となりますので、絶対に注視しないでください。また、同乗者がいない場合に走行中テレビを映していると安全運転義務違反となりますので、走行中は絶対にテレビを映さないでください。
<b>重要</b>	テレビを見ながら走行中にナビゲーションの地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じる場合があります。
<b>重要</b>	走行中は電波の受信状況が悪くなる為、停車時に比べてテレビの映りが悪くなります。
<b>重要</b>	走行時にTVを表示させない場合は、車両側の操作スイッチにより電源のOFFか、ナビ画面に切り替えてください。もしくは、本製品を取り外してください。
<b>重要</b>	本製品を取り付けても走行中に目的地設定は出来ません。(一部商品除く)
<b>重要</b>	本製品を取り付けても走行中TVを見ることが出来る以外の走行中の規制内容はノーマル時と一緒です。
<b>重要</b>	本製品を使用して発生した事故・違法行為・車両の故障または損害等の責任は一切負いかねますのでご了承願います。

#### 取り付け上の注意事項(必ずお読み下さい)

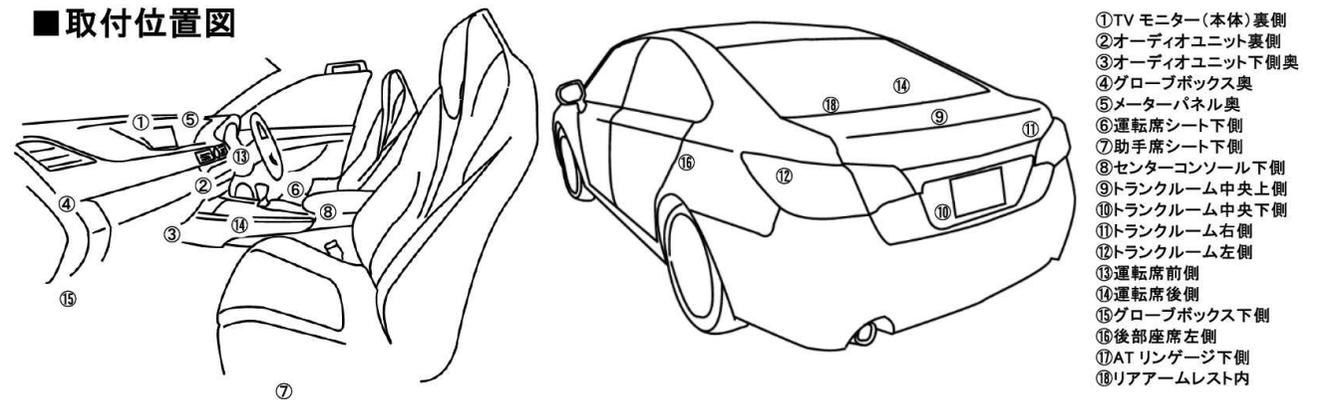
<b>注意</b>	取り付けの際には必ずエンジンを停止させ、バッテリーのマイナス端子を外し5分以上経過してから作業を行ってください。また、オーディオや時計機能などのメモリー内容が消えてしまうので、あらかじめメモを取るなどして作業完了後再度入力してください。
<b>注意</b>	車両内装のパネル及び部品等を外す場合は破損、汚損及びびね等の粉失に十分注意して作業を行ってください。
<b>注意</b>	コネクターを外す際は、コネクターのロックピンをしっかりと押さえて、まっすぐに引き抜いて下さい。無理に引っ張るとテレビチューナーユニット、オーディオユニット、ナビコントロールユニット内の基盤が破損したり断線する恐れがあります。
<b>注意</b>	ハーネスの接続は車種別適合表をご確認の上お買い求めください。ハーネスの接続はコネクターがカチッと音がするまでしっかりと差し込み接続不良を起こさないよう注意してください。
<b>注意</b>	本製品は車両側の適切な場所へテープ・タイラップ等で固定してください。固定しないと接触不良を起こしたり、配線の断線の原因になる恐れがあります。
<b>注意</b>	取り付けの際には、シートレール、ペダル類、ドアなど可動部にハーネス類や本体を挟み込んだり、また挟まれる可能性がある場所には絶対に設置しないで下さい。製品の破損や断線による事故、火災、感電等の恐れがあります。
<b>危険</b>	取り付け終了後に走行テストを行う際は、必ず助手席に人を乗せ、助手席の方がテストを行ってください。
<b>注意</b>	アース線の接続を必要とする場合、アースが不十分だと本製品は正常に動作いたしません。確実にアースを取るようしてください。
<b>重要</b>	あらかじめ取り付けを行う車両の内装脱着要領の資料を入手し、慎重に行ってください。

#### スイッチ切り替えについて(必ずお読み下さい)

<b>注意</b>	スイッチが消灯している(ノーマル状態)ではノーマルと同じ状態ですのでテレビの視聴や、ナビの目的地設定も出来ません。また、エンジンを切った後に、再度エンジンを始動した場合は必ずノーマル状態(スイッチ消灯)になります。
<b>注意</b>	スイッチを本体へ接続しなければ、走行中にテレビを映したり、ナビの目的地設定をすることが出来ません。
<b>注意</b>	TVを見ながら走行中に地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じている場合があります。その場合は、スイッチをノーマル状態にして暫く走行してください。GPSを感知して自動的に補正され、正規の自車位置へ復帰します。停車中はほとんど補正が効きませんので、必ず走行してください。

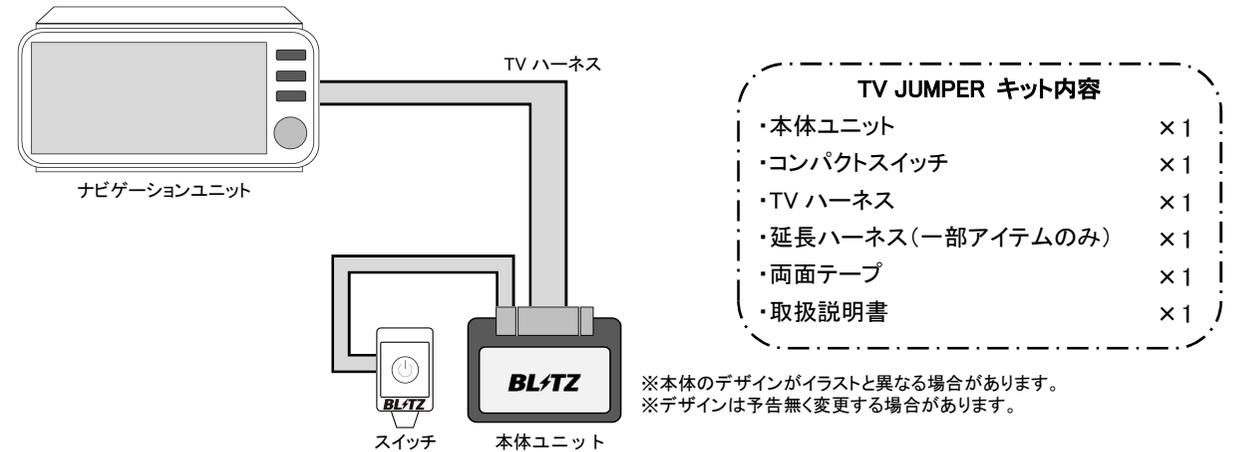
#### ナビゲーションコンピュータ&AVコンピュータ配置図(ハーネス取り付け位置)

#### ■ 取付位置図



- ① TV モニター(本体)裏側
- ② オーディオユニット裏側
- ③ オーディオユニット下側奥
- ④ グローブボックス奥
- ⑤ メーターパネル奥
- ⑥ 運転席シート下側
- ⑦ 助手席シート下側
- ⑧ センターコンソール下側
- ⑨ トランクルーム中央上側
- ⑩ トランクルーム中央下側
- ⑪ トランクルーム右側
- ⑫ トランクルーム左側
- ⑬ 運転席前側
- ⑭ 運転席後側
- ⑮ グローブボックス下側
- ⑯ 後座席左側
- ⑰ AT リンゲージ下側
- ⑱ リアアームレスト内

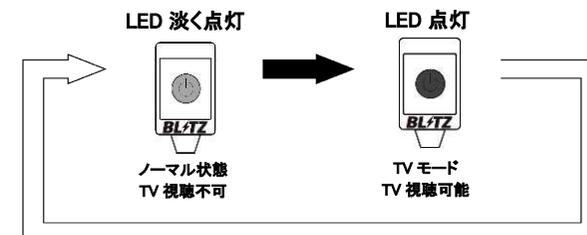
#### TV JUMPER システム構成図



TV JUMPER キット内容	
・本体ユニット	× 1
・コンパクトスイッチ	× 1
・TV ハーネス	× 1
・延長ハーネス(一部アイテムのみ)	× 1
・両面テープ	× 1
・取扱説明書	× 1

※本体のデザインがイラストと異なる場合があります。※デザインは予告無く変更する場合があります。

#### TV JUMPER(TV 切り替えタイプ) スイッチ操作手順



※コンパクトスイッチアダプターを取り付けた際のスイッチイラストになります。

**▲注意** 取付作業を行う際は、イグニッションOFFにした後、6分以上経過してから、必ずバッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。

- ① バッテリーのマイナス端子のバッテリーセンサーのコネクタを抜き、アース端子を外します。
- ② かん合 (15 か所) とコネクタを外し、センターガーニッシュを取り外してください。(図 A、B)
- ③ かん合 (4 か所) を外し、サイドリッドを取り外してください。(図 C)
- ④ かん合 (4 か所) を外し、アシスタントアンダーカバーを取り外してください。(図 D)
- ⑤ グローブボックスを開けたところのボルト 2 本 (図 E) と、下からのボルト 2 本 (図 F) を外し、かん合 (4 か所) を外し、グローブボックス ASSY を取り外してください。
- ⑥ 【MT 車】 シフトノブ下のナットを緩め (矢印部)、シフトノブを取り外してください。(図 G)
- ⑦ 【MT 車】 かん合 (8 か所) とコネクタ類を外し、センターコンソールパネルを取り外してください。(図 H)
- ⑧ 【MT 車】 かん合 (10 か所) とコネクタ類を外し、センターコンソールトレイを取り外してください。(図 I)
- ⑨ 【MT 車】 かん合 (8 か所) を外し、コンソールホルダーを取り外してください。(図 J)

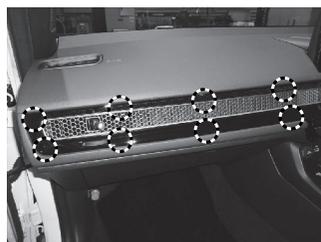


図 A

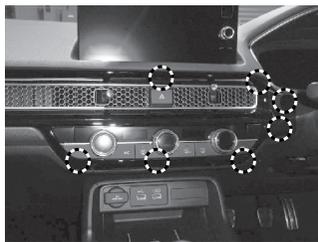


図 B

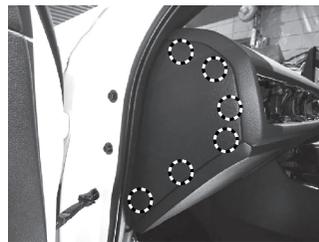


図 C



図 D



図 E

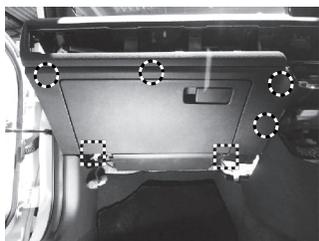


図 F



図 G

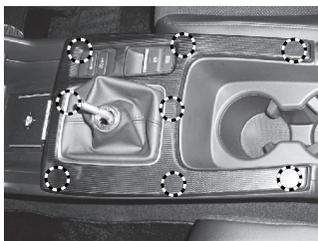


図 H

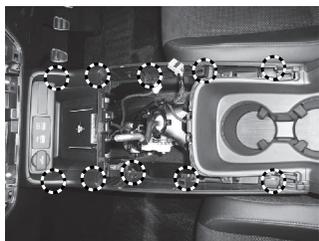


図 I

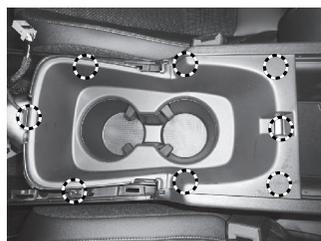


図 J

○ かん合 ○ ボルト

- ⑩ 【CVT 車】 かん合 (4 か所) を外し、シフトブーツを持ち上げてください。(図 K)
- ⑪ 【CVT 車】 かん合 (7 か所) とコネクタを外し、センターコンソールパネルを取り外してください。(図 L)
- ⑫ 【CVT 車】 かん合 (10 か所) とコネクタを外し、センターコンソールトレイを取り外してください。(図 M)
- ⑬ ボルト (6 か所) とコネクタを外し、センターコンソール ASSY を後方にスライドし、取り外してください。(図 N)
- ⑭ ボルト (2 か所) とかん合 (2 か所) を外し、センターロアカバーを取り外してください。(図 O)
- ⑮ ボルト (2 か所) とかん合 (1 か所) を外し、ブラケットを取り外してください。(図 P)
- ⑯ ボルト (3 か所) を外し、ナビゲーションユニットを引き出してください。(図 Q)
- ⑰ ナビゲーションユニット裏の 24 極と 36 極のコネクタに本製品の TV ハーネスを接続してください。(図 R)
- ⑱ 適当な場所へ本製品本体を収納してください。
- ⑲ 配線の潰れや金属部分への接触がないか確認しながら、ナビゲーションユニットを戻してください。
- ⑳ バッテリーのマイナス端子を接続し、バッテリーセンサーのコネクタを接続してください。
- ㉑ 動作確認をして、正常なことが確認できましたら、内装を元に戻してください。
- ㉒ 必要に応じてバッテリー接続後の作業を参照し、車両の学習を行ってください。



図 K



図 L

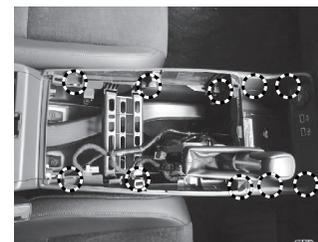


図 M

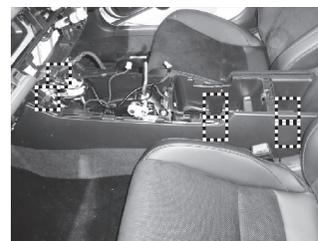


図 N



図 O

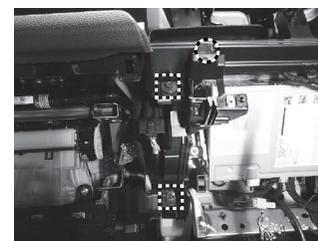


図 P



図 Q

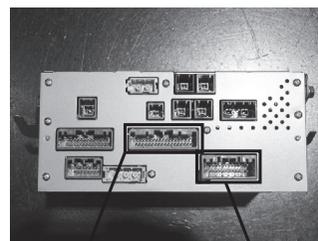


図 R

36 極コネクタ 24 極コネクタ

○ かん合 ○ ボルト

**▲注意**

取付作業を行う際は、イグニッションOFFにした後、6分以上経過してから、必ずバッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。

- ① バッテリーのマイナス端子のバッテリーセンサーのコネクタを抜き、アース端子を外します。
- ② かん合 (17 か所) とコネクタを外し、アシスタントミドルパネルを取り外してください。(図 A、B)
- ③ かん合 (4 か所) を外し、インストルメントセンターパネルカバーを取り外してください。(図 C)
- ④ 上部のボルト 2 本とかん合 (5 か所) とコネクタを外し、センターディスプレイユニットを取り外してください。(図 D、E)
- ⑤ かん合 (7 か所) とコネクタを外し、インストルメントセンタパネルを取り外してください。(図 F)
- ⑥ ボルト (2 か所) とコネクタ類を外し、HCS ECU を取り外してください。(図 G)
- ⑦ ボルト (4 か所) を外し、ナビゲーションユニットを引き出してください。(図 H)
- ⑧ ナビゲーションユニット裏の 24 極 と 36 極のコネクタに本製品の TV ハーネスを接続してください。(図 I)
- ⑨ 適当な場所へ本製品本体を収納してください。
- ⑩ 配線の濡れや金属部分への接触がないか確認しながら、ナビゲーションユニットを戻してください。
- ⑪ バッテリーのマイナス端子を接続し、バッテリーセンサーのコネクタを接続してください。
- ⑫ 動作確認をして、正常なことが確認できましたら、内装を元に戻してください。
- ⑬ 必要に応じてバッテリー接続後の作業を参照し、車両の学習を行ってください。

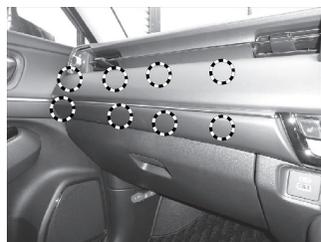


図 A



図 B



図 C



図 D

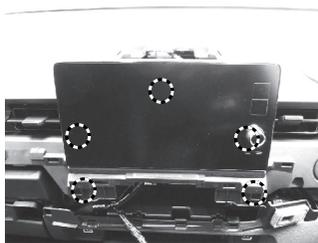


図 E

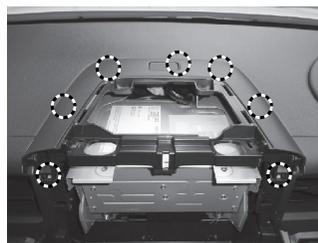


図 F



図 G

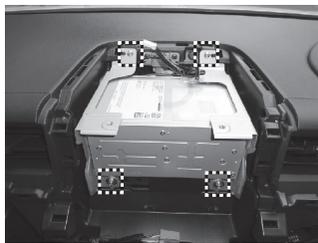


図 H

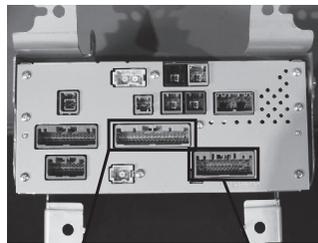


図 I

36 極コネクタ 24 極コネクタ

○ かん合 ○ ボルト

**バッテリー接続後の作業**

本製品を取り付ける際、バッテリーのマイナス端子を外す事で、初期学習が必要となる場合があります。下記を参照し、車両の初期学習の作業を行ってください。作業の内容によっては初期学習作業が不足する場合がありますので、販売店などにご確認ください。

★12V バッテリー内部抵抗値リセット

- ・・・① ヘッドライト OFF、プロアモータ OFF、デフロスタ OFF、A/C スイッチ OFF にしてください。
- ② イグニッション OFF モードにする。
- ③ イグニッション ACC モードにする。
- ④ イグニッション ON モードにする。
- ⑤ エンジンを始動し、1 分間アイドリング状態を保持する。
- ⑥ イグニッション OFF にする。
- ⑦ ③～⑥を 4 回以上繰り返す。
- ⑧ アイドリングストップシステムが正常に動作することを確認してください。

★ステアリング舵角中点値の学習

- ・・・15km/h 以上の速度で直進走行を行う。

※ 年式やグレード、車両装備によっては必要がない場合があります。

※ 上記初期設定・学習は代表例です。

グレードや車両装備の内容によってはディーラーや販売店に入庫する必要がある場合があります。